



2024年3月14日

各 位

会 社 名 株式会社ハマキョウレックス
代 表 者 の 代 表 取 締 役 大須賀 秀徳
役 職 氏 名 社 長
(コード番号: 9037 東証プライム)
執 行 役 員
問 合 せ 先 管理本部長兼 竹内 義之
経営企画室長
(TEL. 053-444-0055)

(訂正・数値データ訂正)「2024年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

2024年1月30日に公表いたしました「2024年3月期第3四半期決算短信〔日本基準〕
(連結)」について、訂正がありましたのでお知らせいたします。

また、数値データ(XBRLファイル)にも訂正がありましたので訂正後の数値データも
送信します。

記

1. 訂正の経緯及び理由

当社は、2024年2月13日付「当社連結子会社従業員による不適切な取引および2024年3月期第3四半期報告書の提出期限の延長申請検討について」で公表しましたとおり、当社連結子会社の従業員が不適切な取引を行っている事実が判明したことを受けて、外部専門家を含む社内調査委員会を設置し、全容解明及び類似事案の有無について調査を行うとともに、本件による影響額の算出を進めてまいりました。

その後、社内調査委員会の調査結果を踏まえ、配送業務を委託する協力会社に上乘せ請求を行わせ、架空の売上原価を計上し、その一部を受け取っていた当該従業員の不適切な取引によって、過大に計上されていた売上原価等に修正が必要と判断し、訂正するに至ったものであります。

本件不正行為により判明した不正金額の合計額は216百万円(税抜)となります。2024年3月期第3四半期において、過年度に架空に計上された売上原価216百万円を取り消すと同時に、回収可能性を考慮し、投資その他の資産に232百万円を計上し、かつ全額貸倒引当金を設定、貸倒引当金繰入額を営業外費用に計上しております。これにより、営業利益は216百万円増加し、経常利益は24百万円減少しております。親会社株主に帰

属する四半期純利益については、税金費用 76 百万円の計上により 73 百万円減少しております。

なお、過年度の連結財務諸表に与える影響は軽微と判断し、過年度の有価証券報告書及び四半期報告書並びに 2024 年 3 月期の各四半期報告書の訂正は行わないこととします。

2. 訂正による 2024 年 3 月期第 3 四半期連結業績への影響

(1) 連結経営成績（累計）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
訂正前 (A)	105,058	9,578	10,170	6,226	331.69
訂正後 (B)	105,058	9,795	10,146	6,152	327.78
増減額 (B-A)	-	216	▲24	▲73	▲3.91
増減率	-	2.3%	▲0.2%	▲1.2%	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
訂正前 (A)	151,811	93,099	53.8
訂正後 (B)	151,811	92,998	53.8
増減額 (B-A)	-	▲100	-
増減率	-	▲0.1%	-

2. 訂正箇所

訂正箇所が多岐に及ぶため、訂正後の全文を添付いたします。また、訂正箇所には下線を付けて表示しております。

以上



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年1月30日

上場会社名 株式会社ハマキョウレックス
コード番号 9037 URL <https://www.hamakyorex.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大須賀 秀徳

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 竹内 義之

TEL 053(444)0054

四半期報告書提出予定日 2024年3月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	105,058	5.2	9,795	6.4	10,146	3.5	6,152	5.9
2023年3月期第3四半期	99,901	5.7	9,202	4.4	9,806	6.1	5,808	8.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,014百万円 (5.1%) 2023年3月期第3四半期 6,674百万円 (9.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	327.78	
2023年3月期第3四半期	309.18	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	151,811	92,998	53.8
2023年3月期	143,038	88,149	54.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 81,609百万円 2023年3月期 77,379百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		45.00		50.00	95.00
2024年3月期		55.00			
2024年3月期(予想)				55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	139,000	5.4	12,100	4.8	12,800	4.0	7,700	4.0	409.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	19,012,000 株	2023年3月期	19,012,000 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	258,922 株	2023年3月期	224,789 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	18,770,777 株	2023年3月期3Q	18,787,226 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	4
第3四半期連結累計期間	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(会計方針の変更)	5
(追加情報)	5
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことによる経済活動の正常化が進む一方、ウクライナ情勢の長期化等によるエネルギー資源や原材料の価格高騰、円安を背景とした物価上昇の影響等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当業界におきましても、原油価格の高騰や人手不足等、経営環境は引続き厳しい状況が続いております。

こうした中、当企業グループの当第3四半期連結累計期間は、営業収益1,050億58百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益97億95百万円（同6.4%増）、経常利益101億46百万円（同3.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益61億52百万円（同5.9%増）となりました。

各セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

(物流センター事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は667億83百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益は82億40百万円（同3.8%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、物流センター運営の充実と前連結会計年度及び当連結会計年度に受託した新規センターが順次業績に寄与したこと、京阪久宝HD(株)及びサカイグループを子会社化したことによるものであります。

また、新規受託の概況につきましては、11社の物流を受託しております。

稼働状況につきましては、前期受託した1社を含めた12社のうち7社が稼働しております。残り5社につきましては、第4四半期以降の稼働を目指して準備を進めてまいります。

なお、物流センターの総数は、187センターとなり、2025年3月期には新たに、愛知県及び静岡県において自社センターの竣工を予定しております。

引続き日々収支、全員参加、コミュニケーションを徹底して行い、収支改善に向け取り組んでまいります。

(貨物自動車運送事業)

当第3四半期連結累計期間の営業収益は382億75百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は15億50百万円（同23.0%増）となりました。

増収増益の主な要因につきましては、輸送物量に回復の兆しが見え始めたことや運賃値上げ交渉による効果、(株)山里物流サービスを子会社化したことによるものであります。

今後につきましては、新規案件の獲得やグループ内での取引拡大を進め、物量の増加に努めるとともに、管理強化による輸送コストの抑制に取り組み、さらなる収益の確保に努めてまいります。

(2) 財政状態に関する説明

当企業グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比87億73百万円増加し、1,518億11百万円となりました。これは主に、設備投資による固定資産の増加と連結子会社の増加により流動資産及び固定資産が増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末比39億24百万円増加し、588億12百万円となりました。これは主に、借入金の返済が進んだものの連結子会社の増加により流動負債及び固定負債が増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末比48億48百万円増加し、929億98百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益61億52百万円の計上と剰余金の配当による19億70百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.1%から53.8%へと減少しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績見通しといたしましては、営業収益1,390億円（前年同期比5.4%増）、営業利益121億円（同4.8%増）、経常利益128億円（同4.0%増）、親会社株主に帰属する当期純利益77億円（同4.0%増）を見込んでおります。

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいたものであります。当企業グループの主たる事業である物流センター事業及び貨物自動車運送事業については経済、景気動向及びお客様の業況等の変動により影響を受ける可能性があり、業績予想の修正が必要となる場合は速やかに開示いたします。

なお、軽油単価の変動による影響につきましては、1リットル当たりの単価1円の変動により、年間38百万円となります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,238	24,543
受取手形、売掛金及び契約資産	15,652	18,370
商品	3	57
貯蔵品	137	156
その他	4,513	4,910
貸倒引当金	△35	△44
流動資産合計	45,509	47,994
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	32,638	32,426
土地	45,984	48,962
その他（純額）	9,121	11,882
有形固定資産合計	87,744	93,272
無形固定資産	2,654	2,933
投資その他の資産	7,129	7,611
固定資産合計	97,528	103,817
資産合計	143,038	151,811
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,371	8,525
短期借入金	17,031	17,471
未払法人税等	2,339	1,297
賞与引当金	1,351	810
厚生年金基金解散損失引当金	49	39
その他	8,452	10,708
流動負債合計	36,595	38,853
固定負債		
長期借入金	4,669	6,551
退職給付に係る負債	5,868	6,055
厚生年金基金解散損失引当金	27	-
その他	7,727	7,352
固定負債合計	18,292	19,958
負債合計	54,888	58,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,547	6,547
資本剰余金	6,445	6,445
利益剰余金	64,756	68,938
自己株式	△643	△783
株主資本合計	77,105	81,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	266	437
退職給付に係る調整累計額	7	23
その他の包括利益累計額合計	273	460
非支配株主持分	10,770	11,389
純資産合計	88,149	92,998
負債純資産合計	143,038	151,811

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業収益	99,901	105,058
営業原価	87,717	91,648
営業総利益	12,183	13,410
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	5	5
役員報酬	635	691
給料及び手当	661	817
賞与引当金繰入額	65	70
退職給付費用	53	20
その他	1,559	2,010
販売費及び一般管理費合計	2,980	3,614
営業利益	9,202	9,795
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	70	93
固定資産売却益	121	116
助成金収入	114	69
売電収入	296	306
雑収入	335	339
営業外収益合計	939	925
営業外費用		
支払利息	104	105
売電原価	165	163
貸倒引当金繰入額	-	232
雑損失	65	72
営業外費用合計	335	574
経常利益	9,806	10,146
特別利益		
負ののれん発生益	105	131
受取補償金	-	5
特別利益合計	105	136
特別損失		
物流センター移転閉鎖損失	10	-
関係会社整理損	131	-
和解金	-	14
特別損失合計	141	14
税金等調整前四半期純利益	9,771	10,269
法人税、住民税及び事業税	2,896	3,114
法人税等調整額	267	338
法人税等合計	3,163	3,452
四半期純利益	6,607	6,817
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,808	6,152
非支配株主に帰属する四半期純利益	798	664
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	38	182
退職給付に係る調整額	28	15
その他の包括利益合計	66	197
四半期包括利益	6,674	7,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,865	6,339
非支配株主に係る四半期包括利益	809	674

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	62,554	36,938	99,492	-	99,492
その他の収益	408	-	408	-	408
外部顧客への営業収益	62,962	36,938	99,901	-	99,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	141	1,510	1,652	△1,652	-
計	63,103	38,449	101,553	△1,652	99,901
セグメント利益	7,938	1,261	9,199	3	9,202

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「物流センター事業」セグメントにおいて、東日本急行株式会社の株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては105百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 及び包括利益計 算書計上額 (注)2
	物流センター 事業	貨物自動車運送 事業	計		
営業収益					
顧客との契約から生じる 収益	65,950	38,275	104,225	-	104,225
その他の収益	833	-	833	-	833
外部顧客への営業収益	66,783	38,275	105,058	-	105,058
セグメント間の内部売上高 又は振替高	148	1,512	1,661	△1,661	-
計	66,931	39,788	106,719	△1,661	105,058
セグメント利益	8,240	1,550	9,791	3	9,795

(注)1. 調整額は、全てセグメント間取引消去によるものであります。

(注)2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「物流センター事業」セグメントにおいて、株式会社サカイアゼットロジの株式を新たに取得したことに伴い、負ののれんが発生しております。なお、当該事象による負ののれんの発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては131百万円であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。

(重要な後発事象)
該当事項はありません。